

令和3年6月吉日

産総研コンソーシアム「人と技術の会」令和3年度第1回講演会
「次世代自動車を支える技術の将来を探る」のご案内

産総研コンソーシアム「人と技術の会」事務局

1. 開催趣旨

産総研九州センターでは昨年度、産総研コンソーシアム「製造技術イノベーション協議会」を「人と技術の会」へとリニューアル致しました。本会は、産総研のシーズ情報の提供や地域の大学・支援機関等との情報交換・交流の場を提供することで、技術開発に取り組んでいる企業が自らの課題を明確化させ、その解決の糸口発見を支援することを目的としています。そこで、本会では会員同士の新たな連携・交流やネットワーク形成を促進し、そこから新たなイノベーション創出の契機としていただけるような講演会を企画・開催して参ります。

地球温暖化をはじめとする「環境制約」は最大の社会課題の一つであり、その解決は待たなしです。このような課題の解決の観点からも、プラグインハイブリッド（PHEV）、電気自動車（EV）、燃料電池車（FCV）といった次世代自動車の普及が見込まれており、九州・沖縄地方産業競争力協議会が策定している「九州・沖縄 Earth 戦略」では、クリーン分野の中で「次世代自動車産業の拠点化推進」が謳われています。今後、自動車産業がEVやFCV等にシフトすることで、その産業構造や求められる技術・部素材やその性能・機能等も大きく変わっていくと考えられます。

そこで、本年度最初の講演会を「次世代自動車を支える技術の将来を探る」というテーマで、オンラインで開催致します。今回の講演会は、より多くの皆様に気軽に参加いただけるように、1件の講演時間を30分程度、全体を1.5時間程度と短めにし、ポイントを絞った講演会となるように企画いたしました。本講演会が、参加企業様の今後の新製品開発や新事業開拓への契機となり、ひいては地域産業のさらなる発展に寄与できれば幸いです。

2. 開催日時及び会場

日時：2021年7月8日（木）13:30～15:10

会場：オンライン開催(WebEXを使用)

参加形式：事前申し込み制（申込者に後日、招待メールをお送りします）

参加費：無料

3. プログラム（案）

13:30～13:35

「開会挨拶」 人と技術の会 会長／産総研九州センター所長 平井 寿敏

13:35～13:50

『人と技術の会』令和3年度総会（書面開催）の報告と活動方針説明」

人と技術の会 副会長／産総研 九州センター所長代理 野中 一洋

13:50～14:20

講演 1

「電動車用モータの損失低減技術について」

大分県産業科学技術センター 電磁力担当総括（電磁力応用技術センター）

専門研究員 池田 哲 様

（概要）

自動車向けモータは電費向上のため、モータの低損失化が求められる。弊センターで開発した高精度磁気特性測定装置をコア技術として、磁気特性、鉄損、残留応力に基づいたモータコアの損失低減手法を適用した事例を紹介する。

14:20～14:50

講演 2 「次世代モビリティ軽量化を拓く“接着関連技術”－海外動向と国内研究－」

産総研センシングシステム研究センター

4D ビジュアルセンシングチーム長 寺崎 正

（概要）2050年カーボンニュートラル、革新的環境イノベーションで、大幅なCO2温室効果ガスの削減を目指すなか、特に市場の大きい自動車・モビリティの軽量化は有効である。そこでは部材軽量化だけでなく、様々な部材の適材適所使用を可能にする接着技術がキーテクノロジーだと認識され、市場もコロナ禍でも拡大中である。そこで今回は、モビリティ設計等で10年は日本の先を行く欧州などの海外動向に加え、世界でもプレゼンスの高い国内研究、とりわけ産総研での“見える化”を基軸とする接着研究を含めて紹介する。

14:50～15:10

講演 3 「全固体電池の電解質材料及び基板の量産技術の開発について」

共立エレクトクス株式会社 NDS 事業部 部長 千々岩 清彦 様

（概要）従来のリチウムイオン電池は電解質の有機溶剤が発火する恐れがあり、電解質が固体の全固体電池の開発が進められている。全固体電池の製造にはセラミックス基板の製造技術が必要であり、弊社が有するセラミックス基板の量産技術を活用し、産総研中部センターと共同で全固体電池の電解質材料及び基板の量産技術の開発を行った。

15:10 「閉会挨拶」 人と技術の会 副会長／産総研 九州センター所長代理 野中 一洋